

# 一般質問



富樫 義人 議員

## ふるさと納税県内最下位！その対策は

**問** 「ふるさと納税」県内最下位という結果を受け、増額の対策をどうするのか。

**村長** 10月29日の山形新聞に、本年度上半期の納税状況では、本村が、県内最下位の記事が掲載されました。これを受け、本村古口出身の株式会社デイリーマーム社長の和田優氏とブランナーの山崎秀雄氏をお招きし、地域の資源や状況を視察の上、地域の振興に係る提言や返礼品のアドバイスをいただきました。また、「ふるさと納税を真剣に考えるべき」、「村民を巻き込んだPR」などの指摘も受けました。

寄贈者の多くは、インターネットからの申し込みが多いことから、村の

ホームページの充実やカード決済を可能にするなどの利便性、さらに、米などの量を増やして増額へとつなげたいと考えています。

**問** ふるさと納税を真剣に考えていくには、専門の職員、スタッフを配置することが、先決と考えるがどうか。

**村長** スタッフについては、限られた人数の中で行政運営を行っています。これを例えば、JAさんや南部活性化協議会等ありますので、こうした方々の手を借りてやっています。

総務課長 現在、総務課政策調整係の職員が兼務でやっております。昨年からは躍進した舟形町の商工会への委託など、さまざまな方法がありますが、当分は今この体制でやっていきたいと考えています。

**問** 返礼品の充実を図るため、商工会やJAとの連携を考えているか。

総務課長 返礼品の目玉商品は米と考えています。



ふるさと納税パンフレット

さらに、米にエゴマ等の特産品をプラスして付加価値をつければ、納税額が増額していくものと考えています。

JAさんや商工会さんとの連携については、現在、JAさんについて

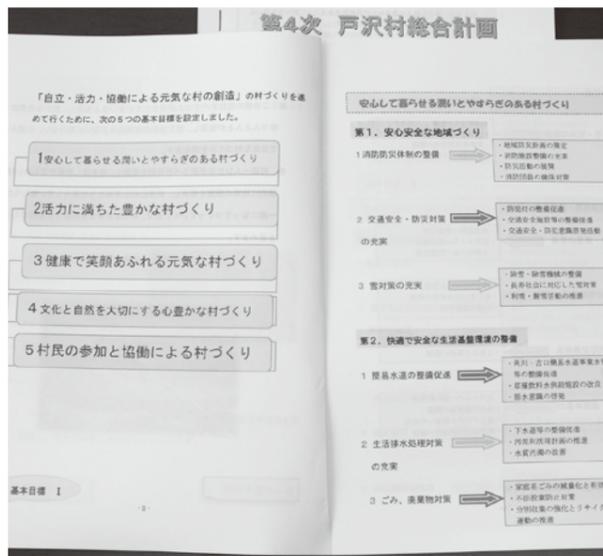
は担当の方で、肉の関係で進めているところであり、村内にある業者を紹介して、ふるさと納税の返礼品を行っていくということを進めているところです。

# 5年後10年後を見据えた村づくりは

# 一般質問



岡田 孝一 議員



第4次総合計画書

**問** 4期目に入った村長として、5年後、10年後を見据えた理想とする村づくりは。

**村長** 平成15年に就任してから、一貫して安心安全

全な村づくりを掲げ、邁進してまいりました。いま、日本全体が少子高齢化、人口減少などの伸展、さらに、地球温暖化に伴う豪雨や干ばつ等の自然災害が発生しております。5年後、10年後においても、安心安全に暮らせる地域として、健全に維持され、次世代に引き継いでいきます。そのため、村民が担うべき役割を認識し、汗を流し知恵を出し合い、課題を解決していく村づくりを進めていきます。

**問** これは、当初予算、補正予算を含め、執行部の

**村長** 岡田議員が申された通りです。努力した結果このようになりましたが、花火は無料で見るといふ感覚があり、当初、見込んでいた有料席の販売に至らなかった。これは間違いない事実であり、私としてもきちんと認めますので、よろしくお願います。

**問** 地方創生事業で、最上川ミュージック花火に創生資金2500万円を含め6500万円を投じて実施したが3月定例会で実施したが6月定例会の臨時会、6月定例会の説明では、総額8300万円、チケット販売4300万円、創生資金と単独費合せて4000万円という説明を受けましたが、大きくかけ離れているので、これについて説明を聞きたい。

**村長** 議会と執行部は両輪であり、みんなで話し

合って、納得いくことが重要であると思います。これを肝に銘じながら、このようなことが二度とあってはならないので、お互い話し合いを行い、納得して、これからの村政、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願います。



ミュージック花火

# 最上川ミュージック花火 予算執行に疑問!!